



NEWS 第49回信玄公祭り 3年半ぶり盛大に開催

新型コロナウイルスの感染拡大を受け、平成31年4月の開催以来、延期を余儀なくされてきた信玄公祭り。昨年10月、約3年半ぶり、史上初めて秋に開催し、観客動員数は過去最高の17万8000人を記録しました。コロナ禍であっても、参加者や観客の皆さんに安心して祭りを楽しんでもらうため、祭りの関係者は事前に抗原検査を行い、武者たちもオリジナルデザインのマスクを着用するなど、感染対策を徹底した上での開催となりました。

信玄公役はお笑いコンビ「ジャルジャル」の後藤淳平さん。舞鶴城公園では後藤さんの号令で、武者たちが一斉に氣勢を上げ出陣。平和通りで約1200人の武者行列を披露し、県内外から集まった大勢の観客を魅了しました。

また、今回は新たな取り組みとして、甲府市中心街のハロウィーンイベントとコラボレーションした仮装パレードを開催。多様性をテーマに、女装パフォーマーでライターのブルボンヌさんや段ボールで手作りした^{かつら}甲冑姿の園児たち、県内在住の外国人などが平和通りを行進し、祭りを盛り上げました。

さらに、サッカーの天皇杯全日本選手権でJ1クラブを破り優勝の快挙を成し遂げたヴァンフォーレ甲府のパレードも行われ、優勝報告会で県は、同チームに県民栄誉賞を贈呈しました。

信玄公祭り実行委員会では、祭りを観客や参加者がより楽しめるよう、参加団体などの意見を聞いた上で次回の開催時期や内容を検討していきます。



信玄公役の後藤淳平さん



平和通りを勇壮に練り歩く武者たち



色とりどりの衣装で行進する仮装パレード



天皇杯優勝を果たしたヴァンフォーレ甲府のメンバー

NEWS 多文化交流イベントを開催 祭り与世界とつながる

県では、県内に暮らす約1万8000人の外国人の皆さんを地域社会の一員として包み込めるような「温かい社会づくり」に取り組んでいます。

そのような中、外国人住民の皆さんと祭りを通じて交流しようと「多文化交流イベント in えびす講まつり」を昨年11月に開催しました。

イベント当日、参加者の皆さんは楽しそうにみこしを担ぎ県庁構内や平和通りを練り歩きました。また、会場にはキッチンカーが並び、来場者はタイやベトナム、台湾など7カ国の料理を味わっていました。

県は、今後もこのようなイベントなどを通じて、国籍や文化的背景を超えた多文化共生をさらに進めていくこととしています。



外国人住民がみこし担ぎを体験



南アルプス林道を限定開放 自転車&アウトドアフェス開催

県と地域スポーツコミッション「やまなしスポーツエンジン」は昨年10月、南アルプス市で「サイクルアドベンチャー・フェス in 南アルプス」を開催しました。

これは、年間を通じて一般車両が通行できない県営南アルプス林道(夜叉神-広河原)をイベント当日のみ限定的に開放し、自転車で走行したりアウトドア・アクティビティを楽しんだりする新たな複合型イベントです。

今回は実証実験として開催され、自転車やアウトドアの専門家、インフルエンサーなど総勢100人が参加。参加者はマウンテンバイクやEバイク(スポーツタイプの電動アシスト自転車)に乗り「やまなしサイクルツアーガイド」の先導で、南アルプス市営芦安第2駐車場から広河原までの往復約40キロメートルを走行しました。

広河原では、甲州ワインビーフなど地元食材を使った料理が振る舞われ、また参加者はテントサウナやヒーリングヨガ、トレッキングなどを体験。静岡県から参加した女性は「Eバイクが使えるので、女性でも気軽に参加できるイベント。自然や食など、山梨の魅力を堪能できました」と話しました。

今後、参加者から意見を聞き課題を整理した上で、イベントの本格実施に向け検討していきます。やまなしスポーツエンジンでは、豊かな自然や観光資源を活用したスポーツツーリズムの推進により、地域の魅力創出と活性化を図っていきます。



芦安第2駐車場で行われた開会式



イベント当日のみ開放された林道を走行する参加者



ヒーリングヨガで癒しを感じる



大自然の中でアウトドアサウナを体験



総体感人数延べ約55万人以上! 「TGC FES YAMANASHI 2022」県内初開催

県と史上最大級のファッションフェスタ「東京ガールズコレクション(TGC)」が地方創生プロジェクトとして共催した「TGC FES YAMANASHI 2022」が昨年10月に開かれました。会場となった河口湖ステラシアター(富士河口湖町)などには県内外から延べ5750人ほどが詰めかけ、オンラインでは延べ約54万5000人が視聴。ショーには県内出身のモデル高瀬真奈さんや県内在住のYouTuber MINAMIさんなどが登場し、県産ジュエリーや郡内織物の魅力を発信しました。屋外エリアには、県内の地場産品を使用したフードブースや、アウトドアグッズのショップが並びました。料理を味わったり、家族で芝生に座り屋外スクリーンでショーの様子を楽しんだりする様子も見られました。

来場者からは「TGCが山梨に来ると聞いた時から絶対行こうと思っていた」「ジュエリーや織物のショーなどがあり、山梨らしいイベントになって良かった」「京都から来た。好きなモデルさんに会えて感激している。富士山もきれい良かった。また来たい」などの声が聞かれました。

県は、国内外の幅広い世代に山梨のジュエリーや織物、食などの魅力を発信し、また若い世代に本県を訪れてもらうため、次回以降の開催を検討していくこととしています。

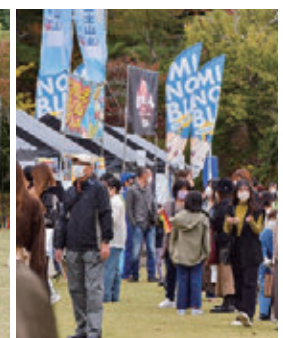


多くの観客がショーを見つめた

©TGC FES YAMANASHI 2022



屋外エリアでショーや食などを楽しむ人たち



NEWS 中東諸国と観光や産業で交流を促進

昨年11月、訪日外国人の来県を促進するため、中東4カ国の駐日大使を本県に招待しました。

バーレーンやオマーン、カタール、クウェートの駐日大使が来県し、米倉山(甲府市)にある水素エネルギーの研究開発拠点や富士河口湖町の「紅葉まつり」など、本県の最先端技術や魅力的な地域資源を視察しました。

また、古代から良質な天然真珠の産地として世界的に有名なバーレーンと日本との外交関係樹立50周年を記念して、山梨ジュエリーミュージアムで開催した企画展「バーレーン王国の天然真珠と宝石」も訪れました。

県ではこうした事業を通じて中東諸国との交流を深め、日本と各国の架け橋になれるよう取り組んでいきます。



来県した中東諸国の大使たち

NEWS 火山防災対策の強化を岸田首相に要望

ひとたび大規模な噴火が起こると、溶岩流や降灰などにより、県境を越えた広い範囲で生活や経済活動に大きな支障が出る恐れがあります。そこで県では、令和元年に、活火山を有する23都道県全てが参加する「火山防災強化推進都道県連盟」を設立し、火山防災対策の強化に向けて取り組んできました。

都道県連盟は、防災対策を進めるための施策や予算などに関する要望を取りまとめ、昨年10月、首相官邸を訪れて要望書を提出しました。今回の要望書には、防災対策をさらに強化するため、観測や調査研究の司令塔となる政府機関の設置や、国主導の広域避難計画の作成、火山防災の日の制定などを盛り込んでいます。

今後も関係都道県と連携し、国と一体となって火山防災対策に取り組み、噴火による被害の軽減を図っていきます。



岸田首相に要望書を手渡す

NEWS メタバースギャラリー 県立美術館にオープン

県立美術館は令和10年度に開館50周年を迎えます。この節目に向けて県では、同館に「新たな価値を創造する場」としての機能を加え、文化芸術の創造拠点とすることを目指し、新たなビジョンの策定を進めています。

新たな価値創造の一環として、昨年11月、同館では仮想空間(メタバース)上のギャラリーで展覧会をオープンしました。この展覧会では、本県出身現代美術作家の作品をオンラインで鑑賞することができます。遠隔からの展示鑑賞のほか、複数人で仮想空間を楽しむなど、メタバースならではの美術体験やコミュニケーションを体感できます。2月末には新たな展覧会を開催するほか、館内にVR機器を設置するなど、現実の美術館と連携した取り組みも進めます。

県では、文化芸術の振興を通じて地域ににぎわいと心の豊かさをもたらす文化立県を目指し、今後もさまざまな取り組みを進めていきます。



VR機器で作品を鑑賞する様子
パソコンやスマートフォンなどでも体験できる

ここから下の段は広告です。広告の内容については、広告主にお問い合わせください。